

總
書
32

滿洲開拓資料第二輯(昭和十六年六月)

滿洲拓植公社關係法規

拓務省拓北局



3

7

滿洲拓植公社關係法規目次

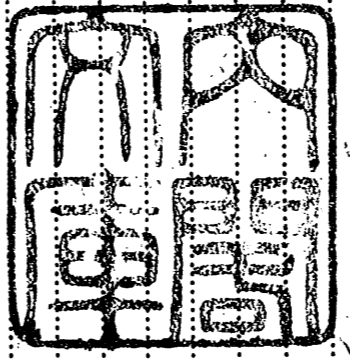
第一 公社設立ニ關スル條約及附屬文書……………一
一 滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定……………一
二 附屬書……………七
三 滿洲拓植公社設立ニ關スル協定書及附屬書ニ關スル日滿兩國
全權委員間了解事項……………八
第二 公社ノ業務監督ニ關スル件……………三三
一 滿洲拓植委員會規定……………三三
二 滿洲拓植公社ニ對スル業務監督命令ニ關スル件……………三六
第三 豫算外國庫負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要
スル件……………三〇

317
728

内閣文庫
九〇五五〇号
和 書 四 冊

公社ノ定款機構及設立年月日

- 一 定 款 二四
- 二 職 制 二四
- 三 分課規程 三五
- 四 企畫委員會規程 三五
- 五 需品事務所規程 三五
- 六 事務分擔細則 三五
- 七 社員制 三五
- 八 理事駐在地 三五
- 九 地方事務所及出張所 三五
- 十 設立年月日 三六
- 第五 滿洲拓植公社 統合實施要綱 三六
- 第六 滿鮮拓植株式會社買收ニ關スル評價委員會設置要綱 三六



第一 公社設立ニ關スル條約及附屬文書

(昭和十二年八月四日條約第十一號)

一 滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定條約

朕樞密顧問ノ諮詢ヲ經テ裁可シ昭和十二年八月二日新京ニ於テ帝國特命全權大使ガ滿洲帝國國務總理大臣ト共ニ署名調印シタル滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定ヲ附屬文書ト共ニ茲ニ公布セシム

御名 御璽
昭和十二年八月三日

内閣總理大臣 公 爵 近 衛 文 麿
外務大臣 廣 田 弘 毅
拓務大臣 大 谷 尊 由

滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定

大日本帝國政府及滿洲帝國政府ハ兩國協力シテ滿洲國ニ於ケル移住ヲ助成シ滿洲國土ノ開發ヲ爲シ以テ兩國間ノ緊密不可分ノ關係ヲ益鞏固ナラシメンコトヲ希望シ之ガ爲日滿合辦ノ株式會社ヲ設立スルノ必要ナルヲ認メ茲ニ左ノ條款ヲ訂立セリ

第一條

日滿兩國政府ハ協力シテ日滿合併ノ株式會社ヲ設立セシメ滿洲國ニ於ケル開拓移住ノ助成ニ關スル事業ヲ經營セシムルモノトス
前項ノ株式會社ハ滿洲拓植公社ト稱ス

第二條

滿洲拓植公社(以下公社ト稱ス)ノ資本ハ滿洲國國幣五千萬圓トス但シ日滿兩國政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増減スルコトヲ得

第三條

公社ハ株金全額拂込前ト雖モ其ノ資本ヲ増加スルコトヲ得
公社ノ株式ハ記名式トシ日滿兩國ノ政府、公共團體若ハ國民又ハ兩國ノ法令ノ何レカニ依リ設立シタル法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數ガ兩國ノ國民又ハ法人以外ノ者ニ屬セザルモノニ限リ之ヲ所有スルコトヲ得
公社ノ各株主ハ一株ニ付一個ノ議決權ヲ有ス

第四條

公社ニ總裁一名並ニ理事及監事若干名ヲ置ク
總裁ハ公社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス

總裁事故アルトキハ理事ノ二人共ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ
理事ハ總裁ヲ輔佐シ公社ノ業務ヲ分掌ス
監事ハ公社ノ業務ヲ監査ス

第五條

公社ノ總裁及理事ハ日滿兩國政府之ヲ任命ス
總裁ノ任期ハ五年、理事ノ任期ハ四年、監事ノ任期ハ三年トス

第六條

公社ハ其ノ拂込ミタル株金額ノ十倍ヲ限リ社債ヲ發行スルコトヲ得
公社社債ヲ發行セントスル場合ニ於テハ日滿兩國政府ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ社債ノ元利支拂ニ付テハ日滿兩國政府ニ於テ各所要ノ手續ヲ經タル上連帶シテ之ガ保證ヲ爲スモノトス

第七條

公社ノ利益配當ハ公正ナル一定率ヲ超エザルモノトス
政府持株以外ノ株式ニ對スル利益配當ハ定款ノ定ムル所ニ依リ或程度ノ率ニ達スル迄政府持株ニ優先シテ之ヲ爲スコトヲ得

第八條

滿洲國政府ハ公社ニ對シ登録稅、法人營業稅、契稅、木稅及牲畜稅ヲ免除ス

第九條

滿洲國政府ハ移住者ガ公社ヨリ土地ノ分讓ヲ受ケタル場合移住者ニ對シ契稅ヲ免除ス

第十條

公社ガ移住者ニ讓渡シタル不動産及不動産上ノ權利ノ移轉(相續ニ因ル場合ヲ除ク)、貸付又ハ之ニ對スル物權ノ設定若ハ移轉(相續ニ因ル場合ヲ除ク)ハ公社ノ承諾ヲ得ルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

第十一條

日滿兩國政府ハ公社ノ業務ヲ監督ス

第十二條

日滿兩國政府ハ公社ノ決議又ハ役員ノ行爲ニシテ本協定、兩國ノ法令若ハ公社ノ定款ニ違反シ、公益ヲ害シ又ハ監督命令ニ違反シタルトキハ其ノ決議ヲ取消シ又ハ役員ヲ解任スルコトヲ得

第十三條

公社ノ毎年度ノ資金計畫及決算ハ日滿兩國政府ノ認可ヲ受クベシ
公社ノ定款ノ變更、監事ノ選任及解任竝ニ合併及解散ノ決議ハ日滿兩國政府ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ効力ヲ生ゼズ

第十四條

日滿兩國政府ハ公社ノ業務ヲ監督ヲ爲サシムル爲滿洲國新京ニ滿洲拓植委員會ヲ設置ス
委員會ノ組織及運用ニ付テハ本協定附屬書ノ定ムル所ニ依ル

第十五條

委員會ハ公社ノ業務ノ監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第十六條

委員會ハ第二條第一項但書、第六條第二項、第十三條第一項及第二項ノ認可、第六條第三項ノ保證竝ニ第十二條ノ決議ノ取消及役員ノ解任ニ付日滿兩國政府ニ其ノ意見ヲ具申スルコトヲ得

第十七條

委員會ハ必要ニ應ジ滿洲國ニ於ケル移民ニ關スル一切ノ事項ニ付日滿兩國政府ニ建議スルコトヲ得

第十八條

委員會ノ經費ハ日滿兩國政府ニ於テ均等ニ之ヲ分擔スルモノトス

第十九條

公社ニ付テハ本協定ニ定ムルモノノ外日滿兩國政府間ニ別ニ定ムル所ニ據ルモノトス

第二十條

日滿兩國政府ハ夫々十五名ノ設立委員ヲ命ジ兩國政府監督ノ下ニ公社設立ニ關スル一切ノ事務ヲ處

理セシムルモノトス

第二十一條

設立委員ハ定款ヲ作り日滿兩國政府ノ認可ヲ受ケタル後株主ヲ募集スルモノトス

第二十二條

設立委員ハ株主ノ募集ヲ終リタルトキハ株式申込證ヲ日滿兩國政府ニ提出シ公社設立ノ許可ヲ申請スルモノトス

前項ノ許可ヲ受ケタルトキハ設立委員ハ遲滞ナク各株式ニ付第一回ノ拂込ヲ爲サシメ其ノ拂込アリタルトキハ遲滞ナク創立總會ヲ招集スルモノトス

第二十三條

創立總會終結シタルトキハ設立委員ハ其ノ事務ヲ公社ニ引渡スモノトス

第二十四條

本協定ハ署名ノ日ヨリ實施セラルベシ

本協定ノ正文ハ日本文及漢文トシ日本文本文ト漢文本文トノ間ニ解釋ヲ異ニスルトキハ日本文本文ニ依リ之ヲ決ス

右證據トシテ下名ハ各本國政府ヨリ正當ノ委任ヲ受ケ本協定ニ署名調印セリ

昭和十二年八月二日即チ康德四年八月二日新京ニ於テ本書ニ通テ作成ス

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使 植 田 謙 吉(國)
滿洲帝國國務總理大臣 張 景 惠(國)

二 附 屬 書

一 滿洲拓植委員會ノ委員ハ十二名トシ日滿兩國政府ハ各六名ヲ任命シ相互ニ之ヲ通報スベシ

日滿兩國政府ハ必要ニ應ジ協議ノ上各同數ノ臨時委員ヲ任命スルコトヲ得

委員又ハ臨時委員事故アルトキハ其ノ代理者ニ付滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使滿洲帝國國務總理大臣相互協議ノ上之ヲ出席セシムルコトヲ得代理者ハ委員又ハ臨時委員ノ名ニ於テ其ノ職ヲ行フ

二 委員會ノ會長ハ委員中ヨリ之ヲ互選ス會長事故アルトキハ委員中ヨリ其ノ代理者ヲ互選ス代理者ハ會長ノ名ニ於テ其ノ職ヲ行フ會長ハ委員會ヲ代表シ且會議ノ議長ト爲ル

三 委員會ノ議事ハ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル會長ハ委員トシテ議決ニ加ハルコトヲ妨ゲズ

四 委員會ニ滿洲拓植委員會事務局ヲ置キ委員會ノ常務ヲ處理セシム

前項ノ事務局ハ委員會ニ於テ選任スル委員若干名及隨員ヲ以テ之ヲ構成ス

事務局ニ局長ヲ置ク局長ハ前項ノ委員中ヨリ會長之ヲ命ズ

五 委員會ハ日滿兩國政府ノ承認ヲ經テ其ノ規則ヲ定ム

三 滿洲拓植公社設立ニ關スル協定及附屬書ニ關スル日滿兩國全權委員間了解事項

第一

協定第五條ノ總裁及理事ノ任命ニ付テハ日滿兩國政府事前ニ協議ヲ遂ゲ意見ノ一致ヲ見タル上各同日附ヲ以テ之ヲ任命スルモノトス

第二

協定第二條第一項但書、第六條第二項、第十三條第一項及第二項ノ認可、第六條第三項ノ保證並ニ第十二條ノ決議ノ取消及役員ノ解任ニ付テハ前項ニ準ズルモノトス但シ兩國政府間ノ協議ハ滿洲拓植委員會ヲ經由シテ爲サルモノトス

第三

協定附屬書ノ一ノ第一項ノ委員ハ左ノ如クスルモノトス

大日本帝國

關東軍參謀長タル陸軍將官

大使館首席參事官

關東局總長

移民事務ニ關係アル者ニシテ日本國政府ニ於テ特ニ任命スルモノ三名

滿洲帝國

產業部大臣

經濟部大臣

總務長官

移民事務ニ關係アル者ニシテ滿洲國政府ニ於テ特ニ任命スルモノ三名

第四

協定附屬書ノ第二項ノ隨員ハ左ノ如クスルモノトス

大日本帝國

關東軍司令部ノ陸軍ノ佐尉官

大使館書記官

拓務書記官又ハ拓務事務官及拓務技師

關東局事務官

滿洲帝國

總務廳企畫處參事官

二名

一名

三名

一名

一名

- 總務廳主計處理事官又ハ事務官 一名
 - 內務廳管理處理事官又ハ事務官 一名
 - 産業部拓政司理事官又ハ事務官 二名
 - 産業部農務司理事官又ハ事務官 一名
 - 經濟部金融司理事官又ハ事務官 一名
- 右ノ外所要ノ臨時隨員及書記ヲ置クコトヲ得ルモノトス

昭和十二年八月二日即チ康德四年八月二日新京ニ於テ

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使 植 田 謙 吉(國)
 滿洲帝國國務總理大臣 張 景 惠(國)

(來翰譯文)

以書翰啓上致候陳者本日調印ノ滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定第十九條ニ關シ本大臣ト閣下トノ間ニ公社ニ關シ該協定ニ規定ナキ事項ニ付テハ便宜上滿洲國ノ會社ニ關スル法令ニ據ルコト但シ日本國ニ設クル公社ノ支店竝ニ日本國ニ於テスル公社ノ株券又ハ債券ノ發行及其ノ株式ノ移轉若ハ質入又ハ社債ノ移轉ニ付テハ日本國ノ商法中外國會社ニ關スル規定及之ニ牽聯スル附屬法令ノ規定ニ準ズルコトニ了解成立致候

本大臣ハ閣下ニ於テ右了解ヲ確認セラレンコトヲ希望致候

右申進旁本大臣ハ閣下ニ向ツテ重テ敬意ヲ表シ候 敬 具
 康德四年八月二日新京ニ於テ

滿洲帝國國務總理大臣 張 景 惠(國)
 滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使 植 田 謙 吉 閣下

(往 翰)

以書翰啓上致候陳者本日附貴翰ヲ以テ左記ノ趣御中越相成敬承致候
 本日調印ノ滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定第十九條ニ關シ本大臣ト閣下トノ間ニ公社ニ關シ該協定ニ規定ナキ事項ニ付テハ便宜上滿洲國ノ會社ニ關スル法令ニ據ルコト但シ日本國ニ設クル公社ノ支店竝ニ日本國ニ於テスル公社ノ株券又ハ債券ノ發行及其ノ株式ノ移轉若ハ質入又ハ社債ノ移轉ニ付テハ日本國ノ商法中外國會社ニ關スル規定及之ニ牽聯スル附屬法令ノ規定ニ準ズルコトニ了解成立致候

本大臣ハ閣下ニ於テ右了解ヲ確認セラレンコトヲ希望致候
 本使ハ茲ニ前記了解ヲ確認致候
 右回答旁本使ハ閣下ニ向ツテ重テ敬意ヲ表シ候 敬 具

昭和十二年八月二日新京ニ於テ

滿洲帝國駐劄大日本帝國特命全權大使 植 田 謙 吉(國)



滿洲帝國國務總理大臣 張 景 惠 閣下
(漢文略)

第二 公社ノ業務監督ニ關スル件

一 滿洲拓植委員會規程

第二章 委員會

- 第一條 滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定ニ定ムル滿洲拓植委員會ハ滿洲國新京ニ之ヲ設置ス
- 第二條 委員會ハ協定附屬書ノ定ムル所ニ從ヒ日滿兩國同數ノ委員及臨時委員ヲ以テ之ヲ組織ス
- 第三條 委員會ノ會長ハ委員中ヨリ之ヲ互選ス
會長事故アルトキハ委員中ヨリ其ノ代理者ヲ互選ス代理者ハ會長ノ名ニ於テ其ノ職ヲ行フ
會長ハ委員會ヲ代表シ且會議ノ議長ト爲ル
- 第四條 委員會ノ決定ハ委員會ノ會議ニ依リ之ヲ決ス但シ會議ノ議案輕易ナルトキハ特ニ會議ヲ開カザルコトヲ得
- 第五條 委員會ノ會議ハ會長之ヲ招集ス
招集ハ會議期日二日前迄ニ各委員及臨時委員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス但シ緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ
- 第六條 議案ハ招集通知書ト共ニ之ヲ送達スルコトヲ要ス但シ會長ニ於テ其ノ必要ヲ認メザルトキ

及緊急ヲ要スル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第七條 委員會ノ會議ハ委員及臨時委員全員出席スルニ非ザレバ開會スルコトヲ得ズ

第八條 委員會ノ議事ハ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可ク同數ナルトキハ會長ノ決スル所ニ依ル

會長ハ委員トシテ議決ニ加ハルコトヲ妨ゲズ

第九條 日滿兩國政府ノ雙方又ハ一方ニ對スル委員會ノ建議ニ關スル審議ヲ要請セントスルトキハ

委員又ハ臨時委員ヨリ建議案ヲ會長ニ提出スルコトヲ要ス

會長前項ノ建議案ヲ受理シタルトキハ事務局ノ審議ヲ經テ遲滯ナク會議ヲ招集ス

日滿何レカ一方ノ政府ニ對シ建議ヲ爲シタルトキハ會長ハ其ノ旨直ニ他ノ一方ノ政府ニ對シ通報

ス

第十條 會長ハ必要ニ應ジ委員及臨時委員以外ノ者ヲ會議ニ出席セシメ意見ヲ述ベシムルコトヲ得

第十一條 委員會ノ決議ハ日本文及漢文ヲ以テ各三通ヲ作成シ會長及事務局長之ニ署名ス但シ重要

ナル議事ニ付テハ委員及臨時委員全員之ニ署名ス

會長ハ右文書各一通ヲ日滿兩國政府ニ提出シ他ノ各一通ヲ委員會ノ記録中ニ保管セシム

第十二條 會長ハ事務局長ニ命シ委員會ノ會議議事録ヲ作成セシメ各委員及臨時委員ノ查閱ヲ經テ

確定ノ上委員會ノ記録中ニ保管セシム

第二章 事務局

第十三條 委員會ニ滿洲拓植委員會事務局ヲ置キ委員會ニ於テ選任スル委員若干名並ニ隨員及書記ノ全員ヲ以テ之ヲ構成ス

事務局ニ局長ヲ置ク局長ハ前項ノ委員中ヨリ會長之ヲ命ズ

事務局ノ處務規則ハ會長之ヲ定ム

第十四條 局長ハ會長ノ命ヲ承ケ局務ヲ掌理シ雇員以下ノ進退ヲ專行ス

前條第一項ノ委員ハ局長ヲ輔佐ス

隨員ハ局長ノ命ヲ承ケ事務ヲ掌ル

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ事務ニ從事ス

第十五條 事務局ニ委員室及庶務室ヲ置ク

第十六條 委員室ハ左ノ事務ヲ掌ル

一 滿洲拓植公社業務監督ニ關スル事項

二 移民ニ關スル建議及意見具申ニ關スル事項

第十七條 庶務室ハ左ノ事務ヲ掌ル

一 印章ノ保管及文書ニ關スル事項

二 人事經理及庶務ニ關スル事項

三 情報資料ノ蒐集及保管ニ關スル事項

四 統計及刊行物ノ編纂ニ關スル事項

第三章 會 計

第十八條 委員會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

一 會計年度ノ出納事務ハ翌年度四月三十日迄ニ整理完結ス

第十九條 委員會ノ歳入出概算書ハ前年度六月三十日迄ニ日滿兩國政府ニ之ヲ提出ス
必要避クベカラザルトキハ委員會ハ追加概算書ヲ提出スルコトヲ得

第二十條 委員會ノ決算ハ翌年度五月三十一日迄ニ日滿兩國政府ニ之ヲ提出ス
第二十一條 委員會ノ會計規則ハ會長之ヲ定ム

二 滿洲拓植公社ニ對スル業務監督命令ニ關スル件

滿洲拓植委員會命令第一號

滿洲拓植公社總裁坪上貞二ニ令ス

滿洲拓植公社ニ對スル業務監督命令ニ關スル件

滿洲拓植公社設立ニ關スル協定第十五條ニ依リ其ノ社ノ業務ニ關シ左記ノ事項ヲ命令ス

昭和十二年九月一日

康德四年九月一日

滿洲拓植公社監督命令事項

滿洲拓植委員會會長 東條英機

第一 其ノ社ハ左ノ事項ニ付滿洲拓植委員會ノ承認ヲ受クベシ

一 移住者ニ必要ナル施設及其ノ經營ニ關スル重要事項

二 移住者ニ對スル金融規程ノ制定、變更及廢止

三 移住用土地ノ取得及處分ニ關スル重要事項

四 移住用土地ノ管理及分讓ニ關スル規程ノ制定、變更及廢止

五 他ノ會社又ハ組合ニ對スル重要ナル出資並ニ金融ニ關スル事項

六 移住者ニ讓渡シタル不動産及不動産上ノ權利ノ移轉、貸付又ハ之ニ對スル物權ノ設定若ハ移轉ニ付テノ承諾ニ關スル事項

七 營業資金ノ借入ニ關スル事項

八 社債ノ償還ニ關スル事項

九 株金拂込ニ關スル事項

十 本社、支社又ハ事務所ノ設置、移轉又ハ廢止

十一 職制及人事給與ニ關スル規程ノ制定、變更及廢止

十二 役員會ニ關スル規定ノ制定、變更及廢止

- 十三 總裁及理事ノ他業従事
- 十四 役員ノ退職慰勞金ニ關スル事項
- 十五 訴訟ニ關スル事項
- 十六 其ノ他重要ナル事項

第二 其ノ社ハ左ノ事項ニ付滿洲拓植委員會ニ報告スベシ

甲 定時報告

- 一 毎年度豫算及事業計畫ニ關スル事項（毎年度一回、前年度九月中）
- 二 移住地ノ建設狀況（毎年度二回、五月及十一月中）
- 三 土地管理狀況（毎年度一回、翌年度四月中）
- 四 小作管理狀況（毎年度一回、翌年度四月中）

乙 臨時報告

- 一 株主總會及役員會ノ日時、場所、目的及議案
- 二 株主總會及役員會ノ決議
- 三 役員ノ事務分掌
- 四 移住用土地内原住者ノ處置ニ關スル事項
- 五 事業計畫ノ重要ナル變更ニ關スル事項

六 其ノ他業務上重要ナル事項

（漢文略）

第三 豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件

一 昭和十二年三月三十日公布 (官報號外)

一般會計

拓務省所管

滿洲拓植公社出資金

政府ハ日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トシテ設立セラルル會社ニ對スル出資金トシテ總額千五百萬圓ヲ限り左ノ年割ノ範圍内ニ於テ支出スルノ契約ヲ結ブコトヲ得

昭和十二年度	九、〇〇〇、〇〇〇
昭和十三年度	一、〇〇〇、〇〇〇
昭和十四年度	五、〇〇〇、〇〇〇
計	一五、〇〇〇、〇〇〇

滿洲拓植公社債元利保證

政府ハ日本人ノ滿洲國ニ於ケル移住助成ノ事業ヲ經營スルコトヲ目的トシテ設立セラルル會社ガ

其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ノ元利支拂ニ付左記條件ニ依リ之ガ保證ヲ爲スコトヲ得

- 一 社債ノ元利支拂保證ヲ爲スベキ會社ハ日滿兩國政府ノ出資アルモノニ限ルコト
- 一 社債ノ元利支拂保證ハ日滿兩國政府ノ連帶トスルコト
- 一 政府ニ於テ保證スル社債ノ償還期限ハ起債ノ年ヨリ三十箇年以内ナルコト
- 一 政府ニ於テ保證スル社債金額ハ借換ノ場合ヲ除クノ外其ノ都度帝國議會ノ協賛ヲ經ルコト但シ政府ニ於テ保證スル社債ノ總額ハ貳億千萬圓ヲ超過セザルコト

二 昭和十三年三月二十九日公布 (官報第三、三六八號)

一般會計

拓務省所管

滿洲拓植公社債元利保證

滿洲拓植會社債元利保證ノ名稱ヲ改メ滿洲拓植公社債元利保證トシ同社ガ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債總額面四千五百萬圓ヲ限り元利支拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得

三 昭和十四年三月十六日公布 (官報號外)

一般會計

拓務省所管

滿洲拓植公社債元利保證

政府ハ滿洲拓植公社ガ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノ
ノ外更ニ社債額面壹億千萬元ヲ限リ其ノ元利支拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得

四 昭和十五年三月三十日公布(官報第三、九六八號)

拓務省所管

滿洲拓植公社債元利保證

滿洲拓植公社債元利保證ニ關シ第七十回帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ
契約ヲ爲スヲ要スル件ノ條件第四項中「貳億千萬元」トアルヲ「貳億七千五百萬元」ニ改メ同社
ガ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府ガ保證ヲナスモノノ外更ニ社債額面壹
億二千萬元ヲ限リ其ノ元利支拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得

五 昭和十六年三月五日公布(官報號外)

一般會計

拓務省所管

滿洲拓植公社債元利保證

滿洲拓植公社債元利保證ニ關シ曩ニ帝國議會ノ協賛ヲ經タル豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約

ヲ爲スヲ要スルノ件ノ條件第四項中「貳億七千五百萬元」トアルヲ「參億九千八拾萬圓」ニ改メ
同社ガ其ノ事業ノ費用ニ充ツル爲發行スル社債ニ對シ現ニ政府ガ保證ヲ爲スモノノ外更ニ社債額
面壹億千五百八拾萬圓ヲ限リ其ノ元利支拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得

特別會計

拓務省所管

朝鮮總督府

滿洲拓植公社債元利保證

政府ハ滿洲拓植公社ガ滿鮮拓植株式會社ヲ買收スルコトニ因リ鮮滿拓殖株式會社ノ社債及借入金
ニ替ヘ發行スル社債ニ對シ左記條件ニ依リ其ノ元利支拂ノ保證ヲ爲スコトヲ得
一 政府ニ於テ保證スル社債ハ額面四千三百貳拾萬圓ヲ限度トスルコト
二 政府ニ於テ保證スル社債ノ償還期限ハ起債ノ年ヨリ三十箇年以内ナルコト

第四 滿洲拓植公社ノ定款機構及設立年月日

一定 款

第一章 總 則

第一條 本公司ハ昭和十二年八月二日即チ康德四年八月二日大日本帝國政府及滿洲帝國政府間ニ於テ締結シタル滿洲拓植公社ノ設立ニ關スル協定ニ依リ設立シタル日滿合辦ノ株式會社ニシテ滿洲拓植公社ト稱ス

第二條 本公司ハ滿洲國ニ於ケル移住ヲ助成シ滿洲國國土ノ開發ヲ爲ス爲左ノ業務ヲ營ムコトヲ以テ其ノ目的トス

- 一 開拓地ノ建設及經營ニ關スル助成輔導
- 二 開拓民ニ必要ナル資金ノ貸付
- 三 開拓民ニ必要ナル物資ノ配給
- 四 開拓地生産物ノ販賣斡旋
- 五 開拓用地ノ取得、管理及處分
- 六 開拓民ニ必要ナル事業ニ對スル出資及金融

七 前各號ノ事業ニ附帶スル業務

第三條 本公司ノ資本ハ滿洲國幣六千五百萬圓トス但シ日滿兩國政府ノ認可ヲ受ケ之ヲ増減スルコトヲ得

第四條 本公司ハ株金全額拂込前ト雖モ資本ヲ增加スルコトヲ得

第五條 本公司ハ本社ヲ新京特別市ニ支社ヲ東京市及京城府ニ置ク

第六條 本公司ノ毎年度ノ資金計畫及決算ハ日滿兩國政府ノ認可ヲ受クルモノトス

本公司ノ定款ノ變更、監事ノ選任及解任並ニ合併及解散ノ決議ハ日滿兩國政府ノ認可ヲ受クルコトヲ要スルモノトス

第七條 本公司ノ公告ハ日本國官報及滿洲國政府公報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第二章 株 式

第八條 本公司ノ株式ハ記名式トシ日滿兩國ノ政府、公共團體若ハ國民又ハ兩國ノ法令ノ何レカニ依リ設立シタル法人ニシテ社員、株主若ハ業務ヲ執行スル役員ノ半數以上又ハ資本ノ半額以上若ハ議決權ノ過半數方兩國ノ國民又ハ法人以外ノ者ニ屬セザルモノニ限り之ヲ所有スルコトヲ得ルモノトス

本公司ノ株主ニシテ前項ノ資格ヲ喪失シタルトキハ遲滯ナク其ノ旨ヲ公社ニ通知シ且三個月以内ニ其ノ所有スル株式ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ要ス若シ其ノ株式ヲ讓渡セザルトキハ本公司ニ株券

ヲ提出セシメ公社ハ之ヲ賣却ス賣却ニ依リテ得タル金額ハ賣却費用ヲ控除シ其ノ殘額ヲ交付ス此ノ場合ニ於テハ名義書換停止期間中ト雖モ名義ノ書換ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ株主其ノ株式ヲ讓渡セズ又ハ株券ヲ公社ニ提出セザルトキハ公社ハ該株券ヲ無効トシテ之ヲ公告シ別ニ新株券ヲ發行シ之ニ依リ前項ニ定メタル手續ヲ履行ス

第九條 公社ノ株式ハ一百三十萬株トシ一株ノ金額ヲ五十圓トス

第十條 公社ノ株券ハ一株券、十株券、一百株券、一千株券及一萬株券ノ五種トス

第十一條 株金ノ第一回拂込金額ハ一株ニ付二十五圓トス

第二回以後ノ拂込金額並ニ其ノ拂込期日及方法ハ理事會ノ決議ヲ以テ之ヲ定メ各株主ニ之ガ通知ヲ爲スベシ

第十二條 株式引受人株金拂込期間内ニ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ公社ハ二個月以内ニ其ノ拂込ヲ爲スベキ旨及其ノ期間内ニ之ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フベキ旨ヲ其ノ株式引受人ニ通知スルコトヲ得

株式引受人前項ノ通知ニ拘ラズ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テ公社ハ其ノ者ガ引受ケタル株式ニ付更ニ株主ヲ募集シ又ハ他ノ株式引受人ニ之ヲ引受ケシムルコトヲ得

第十三條 株主株金拂込期間内ニ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ公社ハ一個月以内ニ其ノ拂込ヲ爲スベキ旨及其ノ期間内ニ之ヲ爲サザルトキハ株主ノ權利ヲ失フベキ旨ヲ其ノ株主ニ通知シ且其ノ

旨ノ公告ヲ爲スコトヲ得

株主前項ノ通知及公告ニ拘ラズ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ權利ヲ失フ此ノ場合ニ於テ公社ハ其ノ旨ヲ公告ス

前項ノ場合ニ於テハ公社ハ株式ノ各讓渡人ニ對シ一個月以内ニ拂込ヲ爲スベキ旨ノ催告ヲ爲スモノトス此ノ場合ニ於テハ最モ先ニ滯納金ノ拂込ヲ爲シタル讓渡人株式ヲ取得スルモノトス

讓渡人ガ拂込ヲ爲サザルトキハ公社ハ株式ヲ競賣ニ依リテ得タル金額ガ滯納金額ニ滿タザルトキハ從前ノ株主ヲシテ其ノ不足金額ヲ辨濟セシムルモノトス若シ從前ノ株主ガ十四日以内ニ之ヲ辨濟セザルトキハ公社ハ讓渡人ニ對シテ其ノ辨濟ヲ請求スルモノトス

前四項ノ規定ハ公社ガ損害賠償及第十四條ニ定ムル違約金ヲ請求スル權利ニ影響ヲ及ボスコトナシ

第十四條 株主ガ拂込ノ期間内ニ株金ノ拂込ヲ爲サザルトキハ其ノ拂込ムベキ金額ニ對シ拂込期日ノ翌日ヨリ拂込當日迄百圓ニ付一日四分ノ割合ヲ以テ違約金ヲ徵收ス

第十五條 公社ノ株式ハ公社ノ承諾ヲ得ルニ非ザレバ之ヲ他人ニ讓渡スルコトヲ得ズ

第十六條 株式ノ名義ノ書換ヲ爲サントスル者ハ公社所定ノ名義書換請求書ニ株券ヲ添へ之ヲ本公社ニ提出スベシ但シ公社ニ於テ必要ト認ムルトキハ該株式ノ取得ヲ證明スベキ書類ノ提出ヲ求ムルコトアルベシ

第十七條 株券ノ種類ノ變更、毀損又ハ汚損ノ爲株券ノ引換ヲ爲サントスル株主ハ本公社所定ノ株券引換請求書ニ株券ヲ添ヘ之ヲ本公社ニ提出スベシ

株券ヲ亡失シタル株主ハ其ノ理由ヲ詳記シタル書面ヲ作製シ本公社ノ適當ト認ムル保證人二名ノ連署ヲ以テ本公社ニ新株券交付ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ請求アリタルトキハ本公社ハ直ニ其ノ旨ヲ公告シ其ノ最終ノ公告ノ日ヨリ六十日以内ニ故障ヲ申出ヅル者ナカリシトキニ限り請求者ニ新株券ヲ交付ス

第十八條 株式名義書換ノ手数料ハ株券一通ニ付二角トシ株券引換及新株券交付ノ手数料ハ新株券一通ニ付五角トス

新株券交付ニ關シ公告ヲ要スル場合ハ前記手数料ノ外其ノ費用ヲ徴收ス

第十九條 株主又ハ其ノ法定代理人ハ株式取得ノトキ本公社所定ノ書式ニ依リ其ノ氏名、住所及印鑑ヲ本公社ニ届出ヅベシ其ノ變更アリタルトキ亦同シ

日本國又ハ滿洲國領域内ニ住所又ハ居所ヲ有セザル株主ハ右地域内ニ假住所又ハ法定代理人ヲ定メ之ヲ本公社ニ届出ヅベシ

第二十條 本公社ハ毎年六月一日ヨリ定時株主總會終了ノ日迄株式ノ讓渡ニ依ル名義ノ書換ヲ停止ス

前項ノ場合ヲ除クノ外本公社必要ト認ムルトキハ豫メ其ノ旨ヲ公告シテ名義書換ヲ停止スルコト

ヲ得

第三章 株主總會

第二十一條 株主總會ハ定時及臨時ノ二種トシ定時總會ハ毎年六月臨時總會ハ必要ノ都度總裁之ヲ招集ス

第二十二條 總會ノ議事ハ豫メ通知シタル事項ノ外ニ涉ルコトヲ得ズ

第二十三條 總會ノ議長ハ總裁之ニ當ル總裁事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル

第二十四條 總會ノ議長ハ會議ヲ延期シ又ハ會場ヲ變更スルコトヲ得但シ延期會議ノ議事ハ前會議ニ於テ議了セザリシ事項ノ外ニ涉ルコトヲ得ズ

第二十五條 株主ハ他ノ株主ニ委任シテ其ノ議決權ヲ行フコトヲ得此ノ場合ニ於テ本公社ニ委任狀ヲ差出スベシ

第二十六條 總會ノ議長ハ株主トシテ其ノ議決權ヲ行使スルコトヲ妨ゲズ

第二十七條 總會議事ノ要領ハ之ヲ總會議事録ニ記載シ議長ハ總會ニ出席シタル役員ト共ニ之ニ記名捺印スベシ

第四章 役員

第二十八條 本公社ニ總裁一名、理事六名以内監事三名以内ヲ置ク

第二十九條 總裁及理事ハ日滿兩國政府之ヲ命ズ

監事ハ株主總會ニ於テ株主中ヨリ之ヲ選任ス

監事ハ日滿兩國ノ何レカ一方ノ國民タルコトヲ要ス

第三十條 總裁ハ本公社ヲ代表シ理事會ノ議長ト爲リ且本公社ノ業務ヲ總理ス

總裁事故アルトキハ理事ノ一人其ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

理事ハ總裁ヲ輔佐シ本公社ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ本公社ノ業務ヲ監督ス

第三十一條 總裁ノ任期ハ五年、理事ノ任期ハ四年、監事ノ任期ハ三年トス

第三十二條 理事會ハ總裁及理事ヲ以テ組織シ重要ナル社務ヲ決議ス

理事會ハ總裁之ヲ招集シ其ノ議事ハ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決シ可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

第三十三條 總裁及理事ノ報酬及手當ノ額ハ日滿兩國政府ノ定ムル所ニ依ル

監事ノ報酬及手當ハ株主總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第五章 債

第三十四條 本公社ハ拂込金額ノ十倍ヲ限リ社債ヲ發行スルコトヲ得

本公社社債ヲ發行セントスル場合ニ於テハ日滿兩國政府ノ認可ヲ受クルモノトス

前項ノ社債ノ元利金ノ支拂ニ付テハ第一條ニ掲グル協定ニ依リ日滿兩國政府ヨリ連帶ノ保證ヲ受

クルモノトス

第六章 計 算

第三十五條 本公社ノ營業年度ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第三十六條 總裁ハ每營業年度ニ財産目錄、貸借對照表、營業中告書、損益計算書及損益處分ニ關

スル議案ヲ作成シ監事ノ意見ヲ添へ定時株主總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ受クベシ

第三十七條 本公社ノ利益金ハ每營業年度ニ於ケル總收入金額中ヨリ營業諸經費、諸損失及諸償却

金ヲ控除シタル殘額トス

第三十八條 本公社ノ利益金ハ日滿兩國政府ノ認可ヲ受ケ左ノ方法ニ依リ之ヲ處分スルモノトス

一 法定積立金 利益金ノ百分ノ十以上、

二 株主配當金

三 特別積立金

四 後期繰越金

第三十九條 本公社ハ每營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利益金額ガ日滿兩國政府以外ノ者ノ所有ス

ル株式ノ拂込ミタル株金額ニ對シ年三分五厘ノ割合ニ達スル迄日滿兩國政府ノ所有スル株式ニ對

シ利益ノ配當ヲ爲スコトヲ要セザルモノトス

第四十條 配當金ハ五月三十一日現在ノ株主名簿ニ依リ株主ニ之ヲ拂渡スモノトス新ニ拂込ミタ

ル株金額ニ對シテハ其ノ拂込期日ニ屬スル月ノ翌月ヨリ起算シテ配當金ヲ算出スルモノトス
配當金ノ拂渡期日及場所ハ總裁之ヲ定メ株主ニ通知スベシ

第七章 附 則

第四十一條 本公司ノ負擔ニ歸スベキ設立費用ハ二萬圓ヲ限度トス

第四十二條 監事ノ報酬及手當ハ第三十三條ノ規定ニ拘ラズ創立總會ニ於テモ之ヲ定ムルコトヲ得

第四十三條 本定款ハ日本文及漢文ヲ以テ各一通ヲ作成ス

日本文ト漢文トノ間ニ解釋ヲ異ニシクルトキハ日本文ニ依リ之ヲ決スルモノトス

(漢文略)

昭和十二年八月二十七日

設立委員

東京市荏原區中延町一、〇七五

法制局參事官 森山銳一代理

東京市澁谷區代々木大山町一、〇四九

對滿事務局次長 青木一男代理

關東州廳長官 御影池辰雄

東京市中野區水川町九長尾方

外務省條約局長 三谷隆信

新京日本總領事館構内

大使館參事官 澤田廉三

東京市小石川區大塚仲町四一

大藏省理財局長 關原忠三代理

大藏書記官 相馬敏夫

新京特別市山吹町一一號陸軍官舎

陸軍歩兵大佐 竹下義晴

新京特別市白菊町三三號陸軍官舎

陸軍歩兵少佐 永井八津次

東京市本郷區駒込西片町一〇ノハノ一八

司法省民事局長 大森洪大代理

司法書記官 堀内信之助

東京市淀橋區下落合町三ノ一、三七九

農林省經濟更生部長 小平權一

東京市世田谷區赤堤町二ノ五二四
拓務省拓務局長 安井誠一郎
新京新別市興安大路一、〇〇六
關東局司政部長 三浦直彦
新京特別市康平街一〇號陸軍官舎
正五位勳四等 稻垣征夫
東京市世田谷區玉川與澤町五九七
從三位勳二等 生駒高常
大連市星ヶ浦小松臺
勳三等 宇佐美寛爾
新京特別市北安路六〇二
正八位勳六等 中井雅人
新京特別市北安南胡同九〇八
總務廳次長 神吉正一
新京特別市小六馬路新立街一三
總務廳次長 谷次亨

新京特別市東朝陽路二〇三
總務廳企畫處長 松田令輔
新京特別市惠民路七〇二
總務廳法制處長 松本俠
新京特別市崇智胡同三二三
總務廳主計處長 古海忠之
新京特別市西萬壽大街雲鶴街二〇四
地籍整理局長 袁慶濂
新京特別市崇智路五一三
外務局政務處長 筒井深
新京特別市崇智胡同六〇一
內務局管理處長 武内哲夫
新京特別市照光路白山住宅一二八
司法部民事司長 青木佐治彦
新京特別市東朝陽胡同二〇二
產業部次長 岸信介代理
產業部參事官 神田暹

新東京特別市東萬壽大街二〇八
 産業部農務司長 五十子卷三代理
 産業部理事官 石 坂 弘
 新東京特別市崇智路六〇九
 産業部拓政司長 森 重 干 夫
 新東京特別市中央通二二國都ホテル内
 經濟部次長 西 村 淳 一 郎
 新東京特別市錦町三丁目七
 經濟部金融司長 田 中 恭
 新東京特別市北安南胡同九〇九
 滿洲拓植株式會社總裁 坪 上 貞 二

二 職 制 (昭和十六年三月二十四日達第二百四十五號)

第一條 總裁ハ公社ヲ代表シ其ノ業務ヲ總理ス
 第二條 理事ハ總裁ヲ輔佐シ公社ノ業務ヲ分掌ス
 總裁事故アルトキハ理事ノ一人共ノ職務ヲ代理シ總裁缺員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

第三條 本社ニ總裁室、開拓部、土地部、需品部、工務部及監察役ヲ置ク
 第四條 總裁室ハ庶務、文書、人事、經理、兵事特ニ命ゼラレタル企畫ニ關スル事項及他部ノ主管ニ屬セザル事項ヲ管掌ス
 第五條 開拓部ハ開拓地ノ建設、經營ノ助成輔導及開拓民ニ對スル金融並滿洲開拓青年義勇隊ニ關スル事項ヲ管掌ス
 第六條 土地部ハ土地ノ取得、管理、利用及處分ニ關スル事項並開墾及農場ニ關スル事項ヲ管掌ス
 第七條 需品部ハ物資ノ取得、保管及配給ニ關スル事項ヲ管掌ス
 第八條 工務部ハ拓地、測地及建築工事ニ關スル事項ヲ管掌ス
 第九條 監察役ハ社業ノ監査ニ關スル事項ヲ管掌ス
 監察役ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム
 第十條 本社總裁室及各部ハ其ノ所管事項ニ付總括的企畫編制ノ事務ヲ掌ル
 第十一條 東京市及京城府ニ支社ヲ置ク
 支社ハ日本内地及朝鮮ニ於ケル業務ヲ管掌ス
 第十二條 業務上樞要ノ地ニ地方事務所ヲ置ク
 地方事務所ハ其ノ管轄地域内ニ於ケル業務ヲ管掌ス
 地方事務所ノ名稱、位置及管轄地域ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 本社各部、支社及地方事務所ニ部長、支社長及所長ヲ置ク

前項ノ部所長ハ理事又ハ社員ヲ以テ之ニ充ツ

部所長ハ總裁ノ命ヲ承ケ其ノ所管事項ヲ掌理ス

第十四條 必要ニヨリ本社各部ニ副部長、地方事務所ニ次長ヲ置ク

副部長及次長ハ部所長ヲ輔佐シ、部所長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十五條 本社總裁室、各部、支社及地方事務所ニ課ヲ置ク

課ノ名稱及分掌事務ハ別ニ之ヲ定ム

課ニ課長ヲ置ク

課長ハ上司ノ命ヲ承ケ其ノ所管事務ヲ處理ス

必要ニ依リ課ニ副課長ヲ置ク

副課長ハ課長ヲ輔佐シ課長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十六條 本社ニ參與ヲ置クコトヲ得

參與ハ重要ナル業務ノ審議ニ參畫ス

第十七條 本社總裁室及各部ニ調査役ヲ置クコトヲ得

調査役ハ特ニ命セラレタル事項ノ調査研究ヲ掌ル

第十八條 業務上必要ノ地ニ出張所ヲ置ク

出張所ハ本社、支社又ハ地方事務所ニ隸屬シ其ノ管轄區域内ニ於ケル業務ヲ掌ル

出張所ノ名稱、位置及管轄區域ハ別ニ之ヲ定ム

出張所ニ出張所長ヲ置ク

出張所長ハ上司ノ命ヲ承ケ其ノ所管業務ヲ處理ス

三分 規 程 (昭和十六年三月二十四日達第二百四十六號)

第一條 總裁室ニ文書課、人事課、經理課、兵事課及企画委員會ヲ置ク

第二條 文書課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 社印及役員印ノ保管

二 職制其ノ他社規

三 株式及法律手續

四 文 書

五 役員會議其ノ他社内重要會議

六 官廳其ノ他諸機關トノ連絡及一般渉外

七 業務ノ連絡調整

八 資料及弘報

九 役員秘書

十 庶務

十一 他部課ノ主管ニ屬セザル事項

第三條 人事課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 社員ノ任免

二 人事制度ノ調査及計畫

三 服務及考課

四 待遇及給與

五 養成及訓練

六 共濟其ノ他福祉

七 協和會分會事務

第四條 經理課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 資金計畫

二 豫算及決算

三 社債及借入金

四 本社經理

五 開拓ニ必要ナル事業ニ對スル出資及金融

六 金錢及有價證券ノ出納保管

七 社用財産ノ取得及管理

八 物品ノ出納保管

第五條 兵事課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 社員及訓練生ノ兵事

二 開拓民ノ兵事相談

三 開拓地ノ自衛輔導

四 訓練所ノ整備

五 兵器

第六條 企畫委員會ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 特ニ命ゼラレタル事項ノ企畫、

企畫委員左ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第七條 開拓部ニ經營課、建設課、金融課、農産課及訓練課ヲ置ク

第八條 經營課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 開拓地ノ調査

二 營農基本計畫

三 開拓團、協同組合及聯合會ノ經營

四 開拓地生産物ノ販賣

五 開拓民ノ福祉

六 義勇隊開拓團先遣隊

第九條 建設課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 入植適地調査

二 開拓地ノ設營

三 開拓地ノ建築

四 開拓地ノ拓地

第十條 金融課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 開拓團、協同組合及聯合會ニ對スル金融

二 開拓團、協同組合及聯合會ノ資金監理

三 開拓團、協同組合及聯合會ノ經理指導並監査

四 義勇隊開拓團先遣隊ノ預リ金

第十一條 農産課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 開拓地ノ農産

二 開拓地ノ林産

三 開拓地ノ畜産

第十二條 訓練課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 訓練所ノ經營

二 訓練所職員及訓練生

三 訓練所特別會計

四 訓練所用財産ノ管理

第十三條 土地部ニ管理課及農場課ヲ置ク

第十四條 管理課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 土地ノ取得、地籍及土地處分

二 土地ノ管理

三 土地ノ利用

四 原住民輔導

第十五條 農場課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 農場ノ經營

二 勤勞奉仕隊

三 開拓地ノ開墾

第十六條 需品部ニ監理課及資材課ヲ置ク

第十七條 監理課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 需品業務ノ監理

二 需品勘定ノ計算

第十八條 資材課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 物動計畫

二 物資需給ノ調査及計畫

第十九條 建設資材、營農資材、生計資材ノ取得、保管及配給

需品部ハ左ノ箇所ノ業務ヲ總括ス

一 需品事務所

第二十條 需品事務所ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二十一條 工務部ニ業務課及技術課ヲ置ク

第二十二條 業務課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 工事業務ノ監理

二 工事資材ノ需給計畫

三 勞務ノ需給計畫

四 工務勘定ノ計算

第二十三條 技術課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 土地改良工事ノ設計及施行

二 建築工事ノ設計及施行

三 土地測量ノ計畫及施行

第二十四條 工務部ハ左ノ箇所ノ業務ヲ總括ス

一 工事業務所

工事業務所ニ關スル規定ハ別ニ之ヲ定ム

第二十五條 東京支社ニ庶務課及經理課ヲ置ク

第二十六條 庶務課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 庶務、文書及人事

二 業務連絡

三 調査及弘報

四 他課ノ主管ニ屬セザル事項

第二十六條 經理課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

- 一 豫算及決算
 - 二 資金及物資ノ調達ノ連絡
 - 三 資金計畫及決算ノ認可ニ關スル連絡
 - 四 金錢及有價證券ノ出納保管
 - 五 社用財産ノ取得及管理
 - 六 物品ノ出納保管
 - 七 開拓民及訓練生ニ對スル補助金
 - 八 物資ノ取得、保管及輸送
- 第二十七條 京城支社ニ庶務課及業務課ヲ置ク
- 第二十八條 庶務課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル
- 一 職印ノ保管
 - 二 庶務、文書及人事
 - 三 豫算及決算
 - 四 金錢及有價證券ノ出納保管
 - 五 社用財産ノ取得及管理

六 物品ノ出納保管

- 七 物資ノ取得、保管及輸送
 - 八 他課ノ主管ニ屬セザル事項
- 第二十九條 業務課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル
- 一 官廳其ノ他諸機關トノ連絡
 - 二 調査及情報
 - 三 社業及開拓關係事項ノ紹介
- 第三十條 地方事務所ニ庶務課、經理課、開拓課、土地課、需品課及工務課ヲ置ク
- 第三十一條 庶務課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル
- 一 庶務及文書
 - 二 人事
 - 三 兵 事
 - 四 他課ノ主管ニ屬セザル事項
- 第三十二條 經理課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル
- 一 豫算及決算
 - 二 金錢及有價證券ノ出納保管

三 社用財産ノ取得及管理
四 物品ノ出納保管

第三十三條 開拓課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

- 一 開拓地ノ調査
- 二 開拓團、協同組合及聯合會ノ經營
- 三 入植適地調査
- 四 開拓地ノ建設
- 五 開拓團、協同組合及聯合會ニ對スル金融、經理指導並監査
- 六 開拓地生産物ノ販賣
- 七 開拓地ノ農産、林産及畜産
- 八 開拓民ノ福祉
- 九 義勇隊開拓團先遣隊
- 十 訓練所

第三十四條、土地課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

- 一 土地ノ取得、地籍及土地處分
- 二 土地ノ管理

三 土地ノ利用

四 小作營農資金ノ貸付及償還

五 管理地生産物ノ處分

六 原住民輔導

七 農場ノ經營

八 開拓地ノ開墾

九 大農機具ノ管理

第三十五條 需品課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 管内所要物資ノ需給調査及計畫

二 物資ノ取得、保管及配給

三 需品勘定ノ計算

第三十六條 工務課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 管内所要工事資材ノ需給計畫

二 拓地鑿井工事ノ設計及施行

三 建築工事ノ設計及施行

四 工務勘定ノ計算

第三十七條 出張所ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 庶務及會計

二 開拓團、協同組合ノ經營及農事ノ輔導並經理指導

三 開拓團建設ノ輔導

四 社有地ノ管理及利用

五 開拓民ニ對スル金融及物資ノ斡旋

四 企業委員會規程（昭和十六年三月二十四日達第二百四十九號）

第一條 企業委員會ニ委員長及委員若干名ヲ置ク

委員長ハ總裁ノ命ヲ承ケ會務ヲ掌理ス

委員ハ特ニ命セラレタル事項ノ企業ニ當ル

第二條 委員長ハ毎月一回定時ニ委員會ヲ招集ス但必要アルトキハ其ノ都度臨時ニ之ヲ招集スルトヲ得

第三條 委員長ハ簡所長又ハ關係者ニ對シ必要ナル資料ノ提出又ハ事項ノ説明ヲ求ムルコトヲ得

第四條 企業委員會ニ分科會ヲ設クルコトヲ得

第五條 企業委員會ニ幹事ヲ置ク

幹事ハ委員長ノ命ヲ承ケ企業委員會ノ事務ヲ處理ス

五 需品事務所規程（昭和十六年三月二十四日達第二百五十號）

第一條 新京及奉天ニ需品事務所ヲ置ク

第二條 需品事務所ニ購買課及倉庫課ヲ置ク

第三條 購買課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 建設、營農及生計資材ノ取得、保管及配給

二 所内經理

三 他課ノ主管ニ屬セザル事項

第四條 倉庫課ハ左ニ關スル事項ヲ掌ル

一 物資ノ檢收貯藏及輸送

六 事務分擔細則（昭和十六年三月二十六日達第二百五十一號）

第一章 通 則

第一條 本社、東京支店及地方事務所ノ各課ニ係ラザル係ハ課内事務ヲ分擔ス

第二條 係ニ主任ヲ置ク

係主任ハ課長ノ命ヲ承ケ係事務ヲ處理ス

第三條 前二條ノ規定ハ出張所ニ之ヲ準用ス

第二章 本 社

第四條 總裁室文書課ニ庶務係、文書係、連絡係、資料係及秘書係ヲ置ク

庶務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 本社事務所ノ管理
 - 二 本社事務所用電話及自動車ノ管理
 - 三 式典其ノ他ノ行事
 - 四 廣告及補助
 - 五 開拓民及訓練生ノ輸送
 - 六 他部課ノ主管ニ屬セザル事項
- 文書係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 社印、役員印及職印ノ保管
 - 二 株式及株主總會
 - 三 職制其ノ他社制ノ制定

四 組織及權限

- 五 契約及文書ノ審議統制
 - 六 役員決裁及供覽文書ノ申達
 - 七 文書ノ收受、發送及保管
 - 八 淨書、謄寫及翻譯
 - 九 訴訟、登記其ノ他ノ法律手續
- 連絡係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 監督官廳トノ連絡
 - 二 許認可申請
 - 三 一般渉外
 - 四 社内業務ノ連絡調整
 - 五 社内重要會議
 - 六 社報及業務誌
- 資料係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 社業及開拓關係事項ノ紹介宣傳
 - 二 圖書資料ノ蒐集及保管

三 規定類纂ノ發行

四 統計、刊行物ノ編纂及發行

秘書係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

一 役員秘書

二 儀禮及接待

第五條 總裁室人事課ニ人事係、服務係、給與係、協和係及養成係ヲ置ク

人事係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

一 社員ノ任免

二 人事制度ノ調査及計畫

三 定員

四 職能登錄

服務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

一 服務及規律

二 考課

三 賞罰

四 出張及請假

五 社外業務受託

給與係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

一 待遇及給與

二 給與ノ審査

三 待遇及給與ノ調査及計畫

四 社宅

五 職務傷病

協和係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

一 保健

二 共濟其ノ他福祉

三 協和會分會事務

養成係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

一 養成及訓練

二 社員鍛鍊農場

第六條 總裁室經理課ニ主計係、經理係、出納係及財産係ヲ置ク
主計係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 資金計畫
 - 二 豫算及決算
 - 三 社債及借入金
 - 四 開拓ニ必要ナル事業ニ對スル出資及金融
 - 五 經理ニ關スル調査及統計
- 經理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 本社經理
 - 二 社員義務貯金
- 出納係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 金錢及有價證券ノ出納保管
- 財産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 社用土地、營造物ノ取得及管理
 - 二 借地及借家
 - 三 營 繕
 - 四 機器、備品及消耗品ノ出納保管
 - 五 帳票仕樣ノ統制

- 第七條 總裁室兵事課ニ兵事係及警備係ヲ置ク
- 兵事係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 社員ノ兵事及在郷軍人會事務
 - 二 訓練生ノ兵事
 - 三 開拓民ノ兵事相談
- 警備係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 訓練所ノ警備
 - 二 開拓地ノ自衛輔導
 - 三 兵 器
- 第八條 開拓部經營課ニ調査係、第一經營係、第二經營係、組合係及厚生係ヲ置ク
- 調査係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 開拓地ノ一般調査及統計
 - 二 農業經營及農家經濟ノ調査
 - 三 營農基本計畫
- 第一經營係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 日本内地人開拓團ノ建設、經營及資金ニ關スル計畫

- 二 日本内地人開拓團ノ農地計畫
- 三 日本内地人ノ開拓地ニ於ケル生産物ノ販賣
- 四 義勇隊開拓團先遣隊

第二經營係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 朝鮮人開拓團ノ建設、經營及資金ニ關スル計畫
 - 二 朝鮮人開拓團ノ農地計畫
 - 三 朝鮮人ノ開拓地ニ於ケル生産物ノ販賣
 - 四 自作農創定
 - 五 既往鮮農ノ集結移動
 - 六 朝鮮人開拓民ノ入植實施及退村處分
- 組合係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 協同組合及聯合會ノ經營及資金ニ關スル計畫
 - 厚生係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 開拓地ノ社寺、教育
 - 二 開拓民ノ保健、衛生
 - 三 開拓民ノ共濟其ノ他福祉

第九條 開拓部建設課ニ設營係、建築係及拓地係ヲ置ク

設營係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 開拓地ノ設營
 - 二 給 水
 - 三 通信施設
- 建築係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 開拓地ノ建築
- 拓地係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 入植適地調査
 - 二 開拓地ノ拓地
 - 三 開拓團ノ土地配分

第十條 開拓部金融課ニ第一金融係、第二金融係及監査係ヲ置ク

第一金融係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 日本内地人開拓團、協同組合及聯合會ニ對スル資金ノ貸付並償還
- 二 日本内地人開拓團、協同組合及聯合會ノ預り金
- 三 日本内地人開拓民ニ對スル補助金

- 四 日本内地人開拓團、協同組合及聯合會ノ資金監理
- 五 義勇隊開拓團先遣隊ノ預リ金
- 第二金融係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 朝鮮人開拓民及開拓團ニ對スル資金ノ貸付並償還
 - 二 朝鮮人開拓民及開拓團ノ預リ金
 - 三 朝鮮人開拓民及開拓團ニ對スル補助金
 - 四 朝鮮人開拓團ノ資金監理
 - 五 既往鮮農ノ自作農創定ニ關スル土地其ノ他ノ鑑定評價、取得、管理及處分
 - 六 擔保物ノ鑑定、評價及保管
- 監査係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 開拓團、協同組合及聯合會ノ經理指導並監査
- 第十一條 開拓部農産課ニ農産係、林産係、馬産係及畜産係ヲ置ク
 - 農産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 開拓地ノ耕種
 - 二 種苗ノ取得及配給
 - 三 農作物病蟲害ノ豫防及驅除

- 四 農具ノ改良及普及
- 五 農産物ノ加工及貯藏
- 六 開拓ノ副業
 - 林産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 農村備林ノ造成
 - 二 苗圃ノ造成及普及
 - 三 開拓團及協同組合ノ直營伐採
 - 四 林産物ノ加工
 - 馬産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 役馬ノ取得及配給
 - 二 役馬ノ飼養管理及防疫
 - 三 役馬ノ改良及増殖
 - 畜産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 家畜、家禽ノ取得及配給
 - 二 家畜、家禽ノ飼養管理及防疫
 - 三 家畜、家禽ノ改良及増殖

- 四 牧野ノ造成
- 五 畜産物ノ加工及貯藏

第十二條

開拓部訓練課ニ監視係、訓練係及經理係ヲ置ク

監視係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 訓練所ノ職員
 - 二 訓練生
 - 三 訓練所ノ保健及衛生
- 訓練係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 訓練所ノ訓育、農事、學事及教練
 - 二 青年學校

經理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 訓練所特別會計
- 二 訓練所所要物資ノ補給計畫
- 三 訓練所用財産ノ管理

第十三條

土地部管理課ニ管理係、土地係及利用係ヲ置ク

管理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 土地ノ管理
 - 二 小作營農資金ノ貸付及償還
 - 三 管理地生産物ノ處分
 - 四 原住民輔導
- 土地係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 土地及地上物件ノ取得及處分
 - 二 土地財産彙帳ノ整理及保管
 - 三 土地ノ租稅公課
- 利用係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 土地ノ調査及利用

第十四條

土地部農場課ニ農場係、奉仕隊係及開墾係ヲ置ク

農場係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 農場ノ經營
- 奉仕隊係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 勤勞奉仕隊
- 開墾係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 開拓地ノ開墾
- 二 大農機具ノ管理

第十五條 需品部監理課ニ監理係及計算係ヲ置ク

監理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 需品業務ノ監理
- 二 需品諸統計ノ作成

計算係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 需品勘定ノ計算
- 二 需品施設ノ整備計畫

第十六條 需品部資財課ニ計畫係、建設資財係、營農資材係及生計資材係ヲ置ク

計畫係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 物動計畫
- 二 物資需給ノ調査及計畫

建設資材係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 木材及工材ノ取得、保管及配給
- 營農資材係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

一 農機具、一般機械及器具ノ取得、保管及配給

二 燃料及油脂ノ取得、保管及配給

三 肥料及飼料ノ取得、保管及配給

生計資材係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 食糧、被服及雜貨ノ取得、保管及配給
- 二 醫療器、衛生材料及農藥ノ取得、保管及配給

第十七條 工務部業務課ニ業務係、資材係、勞務係及計算係ヲ置ク

業務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 工事業務ノ監理

資材係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 工事資材ノ需給計畫

勞務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 勞務ノ需給計畫

計算係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 工事勘定ノ計算

第十八條 工務部技術課ニ拓地係、建築係、測地係ヲ置ク

- 拓地係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 開田及土地改良工事ノ設計及施行
- 二 鑿井工事ノ設計及施行
- 建築係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 建築工事ノ設計及施行
- 測地係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 土地測量ノ計畫及施行

第三章 支 社

- 第十九條 東京支社庶務課ニ庶務係及業務係ヲ置ク
庶務係ハ左ニ關スル業務ヲ分擔ス
- 一 職印ノ保管
 - 二 文書及人事
 - 三 事務所ノ管理
 - 四 他課ノ主管ニ屬セザル事務
 - 業務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 官廳其ノ他諸機關トノ連絡

- 二 調査及情報
- 三 社業及開拓關係事項ノ紹介

第二十條 東京支社經理課ニ經理係及需品係ヲ置ク
經理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 豫算及決算
 - 二 資金調達ノ連絡
 - 三 金錢及有價證券ノ出納保管
 - 四 社用財産ノ取得及管理
 - 五 借地及借家
 - 六 物品ノ出納保管
 - 七 開拓民及訓練生ニ對スル補助金
需品係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
 - 一 市況及物資ニ關スル調査
 - 二 物資ノ取得、保管及輸送
 - 三 發註證明書ニ關スル事項
- 第四章 地方事務所

第二十一條 地方事務所庶務課ニ庶務係、人事係及兵事係ヲ置ク

庶務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 職印ノ保管
 - 二 契約及文書ノ審査
 - 三 文書ノ收受、發送及保管
 - 四 官廳其ノ他諸機關トノ連絡
 - 五 事務所ノ管理
 - 六 開拓民及訓練生ノ輸送
 - 七 他課ノ主管ニ屬セザル事項
- 人事係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 人 事
 - 二 社 宅
 - 三 保健、共濟其ノ他福祉
 - 四 協和會分會事務
- 兵事係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 社員ノ兵事

第二十二條 經理課ニ經理係、出納係及財産係ヲ置ク

經理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 豫算及決算
 - 二 課内庶務
- 出納係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 金錢及有價證券ノ出納保管
- 財産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 社用財産ノ取得及管理
 - 二 借地及借家
 - 三 營 繕
 - 四 物品ノ出納及保管

第二十三條 開拓課ニ第一經營係、第二經營係、建設係、第一金融係、第二金融係、農産係、林産係、畜産係及訓練係ヲ置ク

第一經營係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 日本内地人開拓地ノ調査
- 二 日本内地人開拓團ノ建設、經營及資金ニ關スル計畫
- 三 協同組合及聯合會ノ經營並資金ニ關スル計畫
- 四 日本内地人開拓團ノ農地計畫
- 五 日本内地人ノ開拓地ニ於ケル生産物ノ販賣
- 六 日本内地人ノ開拓地ニ於ケル社寺、教育、保健、衛生、共濟其ノ他福祉
- 七 義勇隊開拓團先遣隊
- 八 課内庶務

第二經營係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 朝鮮人開拓地ノ調査
- 二 朝鮮人開拓團ノ建設、經營及資金ニ關スル計畫
- 三 朝鮮人開拓團ノ農地計畫
- 四 朝鮮人開拓地ニ於ケル生産物ノ販賣

五 朝鮮人ノ開拓地ニ於ケル社寺、教育、保健、衛生、共濟其ノ他福祉

六 自作農創定

七 既往鮮農ノ集結移動

八 朝鮮人開拓民ノ入植實施及退村處分

建設係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 入植適地調査
 - 二 給水、通信施設其ノ他設營
 - 三 開拓地ノ建築
 - 四 開拓地ノ拓地
 - 五 開拓團ノ土地配分
- 第一金融係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 日本内地人開拓團、協同組合及聯合會ニ對スル資金ノ貸付並償還
 - 二 日本内地人開拓團、協同組合及聯合會ノ預リ金
 - 三 日本内地人開拓團、協同組合及聯合會ノ資金監理
 - 四 日本内地人開拓團、協同組合及聯合會ノ經理指導並監理
 - 五 義勇隊開拓團先遣隊ノ預リ金

- 第二金融係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 朝鮮人開拓民及開拓團ニ對スル貸付並償還
 - 二 朝鮮人開拓民及開拓團ノ預リ金
 - 三 朝鮮人開拓民及開拓團ニ對スル補助金
 - 四 朝鮮人開拓團ノ資金監理
 - 五 朝鮮人開拓團ノ經理指導並監理
 - 六 既往鮮農ノ自作農創定ニ關スル土地其ノ他ノ鑑定、評價、取得管理及處分
 - 七 擔保物件ノ鑑定、評價及保管
- 農産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 開拓地ノ耕種
 - 二 種苗ノ取得及配給
 - 三 農作物病蟲害ノ豫防及驅除
 - 四 農具ノ改良及普及
 - 五 農産物ノ加工及貯藏
 - 六 開拓地ノ副業
- 林産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 農村備林ノ造成
 - 二 苗圃ノ造成
 - 三 開拓團及協同組合ノ直營伐採
 - 四 林産物ノ加工
- 畜産係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 役馬其ノ他家畜、家禽ノ取得及配給
 - 二 役馬其ノ他家畜、家禽ノ飼養管理及防疫
 - 三 役馬其ノ他家畜、家禽ノ改良及増殖
 - 四 牧野ノ造成
 - 五 畜産物ノ加工及貯藏
- 訓練係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 訓練所
- 第二十四條 土地課ニ管理係、土地係及墾務係ヲ置ク
- 管理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 土地管理及利用
 - 二 小作農資金ノ貸付及償還

- 三 管理地生産物ノ處分
- 四 原住民輔導
- 五 課内庶務

土地係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 土地及地上物件ノ取得及處分
- 二 地券其ノ他土地權利關係書類ノ整備及保管
- 三 土地權利ノ審定、登記及登錄
- 四 土地財産臺帳ノ整理及保管
- 五 土地ノ租稅公課

墾務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 農場ノ經營
- 二 農機具管理所ノ管理
- 三 勤勞奉仕隊
- 四 開拓地ノ開墾

第二十五條 需品課ニ事務係、購買係、倉庫係及木材係ヲ置ク
事務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 需品業務ノ監理
- 二 需品勘定ノ計算
- 三 課内庶務

購買係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 管内所要物資ノ需給調査及計畫
- 二 物資ノ取得、保管及配給

倉庫係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 物資ノ檢收
- 二 物資ノ貯藏
- 三 物資ノ輸送

木材係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 管内所要木材ノ需給調査及計畫
- 二 木材ノ取得、加工、保管及配給
- 三 木材ノ檢收
- 四 木材ノ輸送

第二十六條 工務課ニ事務係、拓地係及建築係ヲ置ク

事務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 工事業務ノ監理
 - 二 管内所要工事資材ノ需給計畫
 - 三 工務勘定ノ計算
 - 四 課内庶務
- 拓地係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 開田、土地改良及鑿井工事ノ設計及施行
- 建築係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 建築工事ノ設計及施行

第五章 出張所

第二十七條 出張所ニ庶務係、助成係及管理係ヲ置ク

庶務係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 庶務、文書及人事
 - 二 會計
 - 三 他係ニ屬セザル事項
- 助成係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス

- 一 開拓團及協同組合ノ經營ノ輔導
 - 二 開拓團建設ノ輔導
 - 三 開拓團及協同組合ノ農事ノ輔導
 - 四 開拓民ニ對スル金融
 - 五 開拓團及協同組合ノ經理指導
 - 六 開拓團及協同組合所要物資ノ斡旋
- 管理係ハ左ニ關スル事務ヲ分擔ス
- 一 土地ノ管理及利用

七 社員 制 (昭和十六年四月一日達第二百七十號)

第一條 公社ニ左ノ社員ヲ置ク

- 參事
- 副參事
- 主事
- 主事補
- 事務員



備員

- 第二條 社員ハ上司ノ命ヲ承ケ社業ニ従事ス
- 第三條 參事ハ月俸二百圓以上ノ社員ニシテ特ニ銓衡ヲ經タル者トス
- 第四條 副參事ハ月俸百三十圓以上ノ社員ニシテ特ニ銓衡ヲ經タル者トス
- 第五條 主事ハ月俸九十圓以上ノ社員ニシテ銓衡ヲ經タル者トス
- 第六條 主事補ハ月俸六十五圓以上ノ社員ニシテ銓衡ヲ經タル者トス
- 第七條 事務員ハ月俸四十圓以上ノ社員トス
- 第八條 備員ハ日給社員トス

八 理事駐在地

(昭和十五年五月一日達第百七十六號)

特定ノ地ニ理事ヲ駐在セシムルコトヲ得
駐在理事ハ總裁ノ指定シタル地方事務所ノ業務ヲ擔任ス

九 地方事務所及出張所

(昭和十五年五月一日現在)

(一) 地方事務所 (十箇所)

名 稱	所在地	管 轄 地 域	備考
哈爾濱地方事務所	哈爾濱市	濱江省	既設
佳木斯地方事務所	佳木斯市	三江省	同
北安地方事務所	北安街	北安省及黑河省	同
東安地方事務所	東安街	東安省	同
齊々哈爾地方事務所	齊々哈爾市	龍江省	同
牡丹江地方事務所	牡丹江市	牡丹江省	同
吉林地方事務所	吉林市	吉林省(長春縣ヲ除ク)	同
奉天地方事務所	奉天市	奉天省、熱河省、錦州省、安東省、 通化省、興安南省及興安西省	昇格
札蘭屯地方事務所	札蘭屯	興安東省及興安北省	同
延吉地方事務所	延吉街	間島省	新設

(二) 出張所 (四十一箇所)

名稱	所在地	管轄區域	管轄箇所	備考
新京出張所	新京特別市	新京特別市、吉林省、長春縣及賓德縣	本社	既設
大連出張所	大連市	關東州	同	同
羅津出張所	羅津府	朝鮮咸鏡北道	同	同
清津出張所	清津府	同	同	同
五常出張所	濱江省五常縣	同	哈爾濱地方事務所	從來北鮮地方事務所タリシモノ
巴彥出張所	巴彥縣	濱江省五常縣	同	既設
珠河出張所	珠河縣	同	同	新設(從來ノ一面移出張所ヲ珠河ニ移轉セシム)
華河出張所	華河縣	同	同	新設
肇東出張所	肇東縣	濱江省肇東縣、肇州縣、青岡縣及蘭西縣	同	同
安達出張所	安達縣	濱江省安達縣郭爾羅斯後旗	同	同
木蘭出張所	木蘭縣	同	同	同

名稱	所在地	管轄區域	管轄箇所	備考
通河出張所	通河縣	三江省通河縣及方正縣	佳木斯地方事務所	既設
鶴立出張所	鶴立縣	同	同	同
富錦出張所	富錦縣	同	同	同
千振出張所	樺川縣	同	同	新設
依蘭出張所	依蘭縣	同	同	同
湯原出張所	湯原縣	同	同	同
慶城出張所	慶城縣	北安省慶城縣	地方事務所	既設
嫩江出張所	嫩江縣	同	同	同
黑河出張所	黑河縣	黑河省瑗琿縣、孫吳縣、奇克縣、烏雲縣及佛山縣	同	從來本社直轄タリシモノ
遜河出張所	遜河縣	同	同	新設
海倫出張所	海倫縣	北安省海倫縣	同	同
鐵驪出張所	鐵驪縣	同	同	同
龍鎮出張所	北安縣	同	同	同

第五

滿洲拓植株式會社 統合實施要綱 (昭和十五年十二月二十八日 對滿事務局事務官會議決定)

方針

滿洲開拓政策基本要綱ニ基キ滿洲拓植公社ト滿鮮拓植株式會社トヲ統合シ以テ開拓事業ノ一元化ヲ圖リ開拓地ノ建設及經營竝ニ之ニ關聯スル原住民輔導ニ關シ各民族ニ對スル公正妥當ナル助成ニ當ラシメ開拓政策ノ統制的遂行ト民族協和ノ積極的達成ニ寄與セシムルモノトス

要領

- 一 滿洲拓植公社ヲシテ滿鮮拓植株式會社ノ營業全部ヲ買收セシメ滿鮮拓植株式會社ハ之ヲ解散セシムルモノトス
- 二 前號ノ買收金額ハ別ニ設クル評價委員會ノ決定スル所ニ依ル
- 三 買收資金ハ滿洲拓植公社ノ増資ニ依ラシメ其ノ増資額ハ千五百萬圓トシ、日滿兩國政府折半出資、昭和十六年度ニ於テ其ノ半額、昭和十七年度以降ニ於テ残り半額ヲ拂込ムモノトス
- 四 日本政府出資分擔額七百五十萬圓ハ朝鮮總督府特別會計ノ所屬トス
- 五 滿鮮拓植株式會社ノ借入金ニシテ滿鮮拓植株式會社ノ社債ニ因ルモノハ其ノ社債ニ付滿洲拓植公社ニ於テ之ヲ承繼セシメ日滿兩國政府ニテ保證スルモノトス

- 其ノ他ノ借入金ニ付テハ能フ限り滿洲拓植公社債ニ振替ヘシムルモノトス
- 五 滿鮮拓植株式會社ノ解散後ニ於テモ其ノ株主タル朝鮮銀行、東洋拓植株式會社等朝鮮關係機關ヲシテ新ニ朝鮮人開拓事業ノ助成ヲ行フコトナルベキ滿洲拓植公社ノ爲其ノ資金調達ニ付盡力セシムルモノトシ差當リ滿鮮拓植株式會社ノ營業讓渡ヨリ得タル資金ハ昭和十六年度發行滿洲拓植公社ノ社債ノ引受ニ可及的充當セシムルモノトス

措置

- 一 本件統合ニ付テハ昭和十六年六月一日ヲ目途トシ實施スルモノトス
- 二 鮮滿拓植株式會社ハ殘餘事業ヲ適當ナル者ニ讓渡セシメ解散セシムルモノトス

第六 滿鮮拓植株式會社買收ニ關スル評價委員會設置要綱

一方 針

滿洲開拓政策基本要綱ニ依ル滿洲拓植公社ト滿鮮拓植株式會社トノ統合方針ニ基キ滿鮮拓植株式會社ノ營業全部ヲ滿洲拓植公社ニ於テ買收スルニ當リ其ノ買收金額ノ公正妥當ヲ期スル爲評價委員會ヲ設置スルモノトス

二 要 領

- 1 評價委員ハ滿洲拓植委員會長及移民事務處理委員會長ニ於テ之ヲ委囑スルモノトス
- 2 評價委員ハ概ネ六名トシ日滿關係官吏三名及日滿民間學識經驗者三名ト豫定ス
- 3 評價委員委囑アリタルトキハ評價委員會ヲ構成シ速ニ其ノ調査ヲ開始シ四月三十日迄ニ評價額及調査報告書ヲ兩會社ニ通達スルト共ニ滿洲拓植委員會長及移民事務處理委員會長ニ報告スルモノトス

三 措 置

- 1 四月一日滿拓、滿鮮拓兩社間ニ締結スベキ營業讓渡ニ關スル假契約ニ於テ讓渡金額ハ評價委員會ニ依リ決定スルモノトス
- 2 評價委員ニハ三月中ニ内交渉ヲ進メ四月一日附テ正式ニ委囑スルモノトス

委員會ノ報告ヲ俟テ之ヲ決定スルコトトシ評價委員ノ選定ハ滿洲拓植委員會長及移民事務處理委員會長ニ依リ決定スルモノトス

- 2 評價委員ニハ三月中ニ内交渉ヲ進メ四月一日附テ正式ニ委囑スルモノトス

評 價 委 員

一日滿關係官吏 三名

山口 乾 治 (拓務事務官)

諏 訪 務 (朝鮮總督府外事部長)

稻 垣 征 夫 (開拓總局長)

二 日滿民間學識經驗者 三名

富田 勇 太 郎 (前滿洲興業銀行總裁)

有 賀 光 豊 (日本高周波重工業株式會社取締役社長)

小 平 權 一 (滿洲糧穀株式會社理事長)

